

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第13回

- 場所：神土ふれあいサロン
- 時期：平成29年4月13日 19:00~21:00
- 参加者：委員5名 ゲスト5名 地域おこし協力隊4名  
役場新規採用職員3名 行政6名

### 【東白川村がんばる地域づくり補助金】

〈補助金申請プレゼンテーション〉

#### ①鮎の友釣り大会 ～ヒガシシラカワズカップの復活～

(団体名) 飛騨川漁協東白川支部 説明者 桂川恒裕さん

(目的) 伝統漁法 鮎の友釣りの普及 及び 白川へファンの呼び戻し

(補助金申請額) 100,000円

(開催日程) 平成29年8月14日(月)

(会場) 鮎ヶ瀬会館を本部とし、白川流域 駐車場 中学校東側

(内容) 参加募集者100名 参加費2,000円

◇釣果数で競い、一般の部3位まで、女性の部2位まで、子供の部2位まで村まつりにて表彰を行う。優勝トロフィーは前回優勝者のプレート部分を変更し、使用する。

賞品は東白川の特産品とし、宣伝も兼ねる。道具を持っていない女性、子供などを対象に貸与も行い、普及を図る。友釣りのための親鮎準備、広報用にチラシ、ポスター、大会用のゼッケンを作成する。

②田乃花咲くや祭り～タノハナサクヤサイ～

(団体名) 未定 (小林夫妻にて後日決定) 説明者 小林由佳さん

(目的) 美しい村東白川の村内外へのPR、文化活動の活性化、地域交流の場の提供

(補助金申請額) 200,000円

(開催日程) 候補日 6月10日, 17日, 18日

(会場) 大明神地区 子護神社近くの田んぼ

(内容) 早乙女担当 女性8名程度、太鼓・音楽担当 8名程度、  
パフォーマー8名程度 の計 24名が演者

(経費) 衣装代、プロによるメイク代、プロによる撮影代、映像編集費、DVD作成費、A2ポスター作成、イベント保険代、食事代、謝礼等

◇集客に注力する祭りではなく、インターネットを利用し、動画にて村の美しさをPRする。具体的にはFaceBookで祭りの告知、進行状況を提供、当日はYouTubeにて映像のライブ配信を行う。当日の動画を英語、中国語の解説付きにて閲覧可にし、海外観光客のPRも行う。撮影された写真を村のPR写真として提供もする。

【名古屋大学臨床学研修】

6月1、2、3日に20名ほどの学生(留学生含む)が白川町、東白川村に滞在し、地域づくりのあり方について研修が行なわれます。行政から、その研修について説明をおこないました。

(修士取得コース)

7月に2泊3日の予定で白川町、東白川村に滞在。

また懇親会を予定しており、委員会の皆様にはここでの出席をお願いしたいとの大学からオファーがありました。

【「日本で最も美しい村」連合】

(再審査について)

行政から委員の方に説明と依頼を行ないました。8月頃に再審査の予定。

再審査内容は現在のところ未定ですが、審査委員の方々が村内で1泊する予定のため、ここでも美しい村づくり委員会の皆様の懇親会への参加をお願いしたい旨を伝えました。

#### 【集落歩き】

##### 〈大沢地区振り返り〉

◇大沢地区には白川茶発祥の地、そのきっかけとなった蟠龍寺跡、裾神さまに加えて、大きな岩がいたるところに存在していることが印象的でした。

##### 〈今後の活動について〉

##### (意見)

◇新しい発見が重なり続けていくことにより、情報が増えすぎて、それらが埋もれていってしまうのではないかと懸念があるとのことからテーマを絞ってみるのはどうか。

◇以前にも委員会で話題にはなったが、実際に集落歩きをし、その地域について振り返ると予想していたような結果にならないことがあった。そのため、テーマを決める必要性はないのではないかと。また、時間的にもそこまでのボリュームで実施すると参加者の重荷になってしまうのではないかと。

◇この集落歩きは村内地域の再発見・再認識への起爆剤であって、成果を求めるものではない。成果はそれぞれで違っていいと思う。この集落歩きをしていることによって村内へ興味を持つことに対してのきっかけを提供している。

##### 〈次回の開催〉

(地区)大明神 (時期)6月

◇ぜひに神さま、水源、子護神社などを訪問予定。

ほかに神付、陰地のホタルの時期などの意見がありました。

以上